

提言書

平成26年2月18日

池田町地域公共交通確保維持改善協議会

会長 勝井勝丸様

池田町町内会連合会

会長 郷司明

町民が利用しやすいコミュニティバス（コミバス）の運行と コミバスを活用した地域振興について

平成26年度10月から開始される予定の池田町コミュニティバスの運行につきましては、今後ますます増えていく高齢者が主に利用する重要な移動手段になると期待しております。このたび、池田町町内会連合会は、誰にとってもわかりやすく、乗りやすいコミュニティバスの運行を願って、池田町が実施する実証運行において乗車モニター（実施期間は平成26年1月10日から2月10日までの1ヶ月間）を自主的に行い、乗車した感想や意見を集約致しました。

その結果、15町内会の町内会役員、福祉関係者の皆様など合計85名から貴重なアンケートの提出をいただき、各町内会の会合等でも検討していただいたことから、町民のコミュニティバスの利用に向けた関心とサービスへの期待が高まっているところでございます。アンケートの結果は、別紙のとおりすべて取りまとめましたので、サービス向上のために参考にいただければ幸いです。

その中で、とりわけ来年度10月の本運行にあたって町行政に考慮していただきたい点につきまして、町内会連合会の役員会にて協議いたしました。その結果につきまして、下記のとおり提言させていただきますので、ご検討のほど宜しくお願い申し上げます。

記

1. バス停について

イ. 実証運行で設置されているバス停では目立ちませんでした。色、形、大きさなど誰にでもわかり易いバス停の設置をご検討ください。

（例えばキャラクターなど、視覚的に訴えるものであったほうが良い。）

フリー乗降ではあるが、バス停があることでコミュニティバスが認知できるので利用につながる。

ロ. バス停の場所によっては十勝バスのバス停と重なっている箇所があり、どちらのバスを利用するかについて運転手の判断で通り過ぎてしまう場面がありました。安心して待っていただけるように、バス停に人が立っている場合は必ず止まることについてご検討ください。

2.ジャンボタクシーについて

イ. 健常者でも買い物をした荷物で座席が狭くなったり、乗り合わせの乗車順によっては降車時に降りにくくなる場合があります。高齢者や障がい者であれば、更に乗降時に不安や危険が伴うため、乗降しやすい種類の車両の運行についてご検討ください。

ロ. 運行するバスがジャンボタクシーでなければならない場合は次の点についてご検討ください。

- ① 出入口に手すりの設置
- ② 座席に降車告知用のブザーの設置
- ③ 利用者にとってバスが目立つ方法について
- ④ 高齢者や障がい者に配慮した乗降ステップについて簡易で安全なものをご検討ください。

ハ. 運転手の対応がよかったのでコミュニティバスの良さを実感したという声が多数ありました。今後とも乗客とのコミュニケーションを大切にする運転手の配置についてご検討ください。ついては、座席から見えるところに運転手の名前のプレートの掲示についてご検討ください。

ニ. まずは地域住民にコミュニティバスを認知してもらう間だけでも、音楽を鳴らして運行することについてご検討ください。その際、フリー乗降禁止区間は音を止めることについてもご検討ください。

3.バスの便数について

イ. 一経路40分という時間は利便性が高く概ね良好でありました。しかし午後の便がおよそ3時30分に終了では利用しにくいという声が多数ありました。場合によっては冬ダイヤ、夏ダイヤを設定するなど増便についてご検討ください。

4.バスのダイヤについて

イ. 現在の運行経路では、運転手が1人で運行する場合にトイレの時間も取れないと思われれます。運行時間が40分より長くなったとしても、運行の安全面への配慮から、例えばロココで5分程度の休憩時間が取れないかご検討ください。

5.フリー乗降について

- イ. とても利便性がよいので継続し、安全面に配慮して利用するように啓発を続けることについてご検討ください。

6.運行経路について

- イ. 住宅地の中側を通るほうが利便性が高まるため、旭町4丁目町内会館と旭町3丁目町内会館、南1丁目を通るルートについてご検討ください。
- ロ. 利別地区については、利別農協を出発点としてもらうことでわかりやすくなるのでご検討ください。その際、現行ルートの逆周りをご検討ください。

7.片側運行について

- イ. バス停のわかりやすさから妥当です。特に安全面からも逆周りのルートがあると、無理をして道路を渡ってしまうケースも想定できますので危険であると考えます。

8.料金について

- イ. 100円で妥当であるという声が多数ありました。
- ロ. 何回乗っても定額という1日券の販売についてご検討ください。
- ハ. スクールバスの定期券が使用できること、料金や購入場所についての周知徹底をご検討ください。

9.待合サロンについて

- イ. 利別については、4月から始まる虹の家のサロンを積極的に活用したいので、運行ルートに加えることについてご検討ください。

10.その他

コミュニティバスの利用により地域の足が確保され、地域医療センターや大型店の利用だけでなく、大通りや商店に立ち寄る方が増え、中心市街地の活性化が進み、やがて池田町全体の賑わいへとつながることを期待します。

本運行後も、福祉対策や商業振興も含めた利用・運行プランについて、行政および商工会、福祉関係者等を含めて継続して検討していく体制づくりについてご検討ください。

以上